

星景写真コンテスト入賞作品目録



一席「星空高く」

田淵 典子さん(神奈川県)

長野県の白馬村で撮影された作品です。豪雪地帯として、またスキーのメッカとして知られる当地は晩春から初夏に掛けても多くの残雪に覆われます。その白銀の大地には葉を落とした樹木、山稜の上には秋の夜空を飾る天の川が立ち上ります。上空にはこと座のヴェガ、下方にはアンドロメダ銀河。夜半過ぎの静寂に包まれた一時、雪原遠くの人工灯火が人の暮らしを教えます。目に優しい自然な雰囲気の良い作品です。

※掲載した作品は、カラー印刷時に作品本来の質が損なわれております。ご了承ください。

※入賞作品は、鳥取さじアストロパーク公式ホームページにも掲載しています。

※同じ賞の掲載は、受付順に並んでいます。

第21回鳥取市さじアストロパーク星景写真コンテスト

- ☆主 催☆ 鳥取市さじアストロパーク
- ☆協 力☆ 写友会カプリシヤス、鳥取天文協会
- ☆協 賛☆ 中央光学、テレスコープセンターアイベル、天文ハウスTOMITA、(株)中井脩、三鷹光器(株)
- ☆後 援☆ (株)さじ式拾壺、星ナビ編集部&AstroArts
- ☆募集期間☆ 平成26年12月1日(月)～平成27年1月15日(木)
- ☆応募結果☆ 121点(61名)
- ☆審 査☆ 委員長/佐治天文台台長・香西洋樹
委員/鳥取市さじアストロパーク所長、ほか

審査委員長 香西洋樹(佐治天文台長)

佐治天文台は、今年(2015年)で開設以来満21年を迎えます。天文台開設以来20年以上にわたり継続して来たこのコンテストも、前回までと同様「星のある風景」をモチーフにした「星景写真」として全国的に募集いたしました。その結果、北海道から四国・九州、さらに沖縄に渡る全国各地の61名により121点の作品が寄せられました。応募頂いた方々の年齢は、前回と同様に10歳未満の方から70歳以上の高齢の方までに亘ります。このように年代幅が広いことは星空、言い換えると人と宇宙についての関心が深まったことを示しているのではないかと思います。

今回、応募された作品を拝見するとき、作者自身の自然との関わりや、自然観、さらに人生観などを感じさせられるような作品が数多くありました。若年の人は新鮮な眼差しで、高齢者は成熟した瞳で見つめた、人と宇宙の関わりを表現しました。入選作品については個々に選評を書くことにいたしますが、全応募作品が作者自身で納得し、厳選された上での応募であることを、如実に感じました。一方、作者の作品に対する強い愛着心から、余分ではないかと思われる部分が残されたり、また星が主役なのか風景が主役なのか判り難い作品もあり、これ等がかえって作品の印象を弱める結果を招いている作品もあり残念でした。格段の進歩が見られたデジタルカメラとプリンターについては、画素数や色調も、天体、特に星の像を点像として描出する能力が格段に進歩、向上したことに驚かされます。デジタルカメラと画像処理、さらに高画質プリンターの普及により、天体を含むテーマがより身近になったことは素晴らしいことに違いありません。応募作品を拝見し、回を重ねるごとに完成度が高まったことを強く感じ、さらにこれまでの応募者に加えて、初応募の方や若い愛好者が増加したことも大きな喜びでした。写真が手軽に撮影でき身近になってきた一方で、天体を含む自然の写真に対して関心が低下してきていると危惧する声も聞かれます。星空と我々人間の営み、何時までも皆様と共有していきたいものです。特に最近頻発する自然災害。これも地球誕生以来繰り返されてきた自然現象で、早い復興を心から願い、その被災地の上にも太古から変わらぬ星空があることを心に留めて置くことも大切なのではないのでしょうか。

最後に、このコンテストを催すにあたり、多くの方々にご協賛・ご後援をいただきました。主催者として、この場を借りて深く感謝を申し上げます。(2015年2月17日)



二席「忘れぬ為に」

大角 朋広さん(愛知県)

忘れることができない自然の脅威。木曾御嶽山の噴火でしょう。作者は、偶然にもこの噴火当日木曾川を挟んだ東の木曾駒ヶ岳で天体写真の撮影のためキャンプ中だったとか。広角レンズが捉えた雲海の上にかかる夏の天の川、画面の西側に異様な黒い壁、これこそ御嶽山の噴煙。実際の体験者ならずとも、この異常さに心を打

たれることでしょう。美しい星空と対比されるような現象です。災害の脅威と犠牲者の御冥福を祈る作者の気持ちが溢れた作品です。

三席「White Diamond」

澤井 延高さん (宮城県)



樹氷で知られる冬の蔵王(ざおう)です。あえて樹氷を避け、雪化粧をした木立を前景に、オリオン、冬の大三角がスバルを追っかけて昇るところを写しました。木の間にはダイヤモンドならぬシリウスが覗きます。昨年冬の作品ですが木星とシリウスを縦軸にした十字架ともとれる作品。冬の蔵王は樹氷とスキーのメッカ。晴れた冬空を飾る星たちの共演です。作品全体がダイヤモンドで飾られました。



「雷光と天の川」入江 中さん (沖縄県)

三席「無限」

野々内 豊さん (島根県)



一瞬富士山かと思いましたが実際には伯耆(ほうき)大山。日本海からの風によって笠雲が発生した大山の上空にたなびくように昇る夏の天の川。サソリ座が駆け上り、てんびん座は季節を秤ります。早春の夜明け前の一瞬。上空の流星が一瞬の時の流れを教え、手前の黒々とした松並木が人との関連を強めました。大山の右の強い光芒や、画面左に見える人家の明かりが人の営みを教えます。

特別賞



「秋の北斗」佐藤 嘉恭さん (新潟県)



「春の磯辺を彩る薄明銀河」鳥羽 聖朋さん (兵庫県)

特別賞



「オリオンに乾杯」 湯淺 光則さん (兵庫県)



「天地創造」 市川 尊之さん (広島県)

佳作



「春近し」
杉 大介さん(愛知県)



「晩秋のオリオン」
岡田 泰秀さん(北海道)



「水面のシャンデリア」
長浜 ユカリさん(宮崎県)



「夜空に架けて」
川崎 淳一さん(宮城県)



「雲海上の宴」
池谷 美弥子さん(鳥取県)



「揺光の星夜」
島村 直幸さん(福岡県)



「龍のごとく」
佐藤 崇さん(宮城県)



「大気光と天の川」
深島 智徳さん(富山県)

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1 TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

URL が変わりました <http://blog.zige.jp/saji-astro/> e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp